

大阪鳥取県人会報

発行：大阪鳥取県人会
発行責任者：川島 清春
編集責任者：上口 敦弘
印刷：(株)新風書房

〈題字〉高野泰明名誉会長 第99号 令和3年2月20日

◆事務局連絡先 〒630-8101 奈良市青山2丁目2-14 高塚 徹
TEL・FAX 0742-23-9541 E-mail: takatsuka@citrus.ocn.ne.jp

令和3年
迎春



危機を乗り越え 輝く年に



心の夜明け

大阪鳥取県人会 会長

川島 清春

明けましておめでとうございます。

「心の夜明け」の始まりです。コロナ禍が発生してから1年、いまだに混沌とした日々が続いています。

私は母が亡くなった47年前から、朝夕「般若心経」を唱えています。今年の元日に唱えている最中に「心の夜明けの年だよ」と囁く声が聞こえました。ハッとして周囲を見回しましたが、誰もいません。私だけです。囁きは「仏様からのお告げ」であり、「コロナ禍」の現在に対応した発信であったと思います。

さて、「コロナ禍」にふさわしい「心の夜明け」と言われても哲学のような言葉であり、私は医師でもないのに、この1年近くの間、世界中を苦しめている「コロナ禍」について知り得たこと、感じたことについて書きます。

「夜明け」が待たれる現在、「コロナ禍」の影響で、社会構造や生き方も大きく変化して、今までの「常識」や「モ

ラル」が通用しなくなるのではないのでしょうか。まさか歴史がかき消されることはないとは信じていますが、私がこうして書いている言葉も倫理もなきものになるのではないのでしょうか？

コロナコロナで、県人会関係の諸行事や会議も開かれず、「井の中の蛙」になりそうです。

今、私は仕事などで、1週間に3回は、奈良県橿原市から京阪神地方に出かけています。交通機関は電車、バス、タクシーなどの利用ですから、真剣に慎重に対応しながらの道中です。乗り合わせた人達の大変さも伝わってきます。

皆様も「自粛」が大切です。さらに「社会構造」や「人々の価値観」の変化に対応した「新しい生き方」が求められています。

「心の夜明け」に向かって前進しましょう。

○ ホームページのご案内 ○

昨年8月30日付でホームページを開設しました。新規トピックにも掲載しましたので是非ご覧ください。

タイトル 「こころの故郷 大阪鳥取県人会」

URL <http://www.osaka.tottorikenjinkai.com>

一すべてのお客様に最高のサービスをー



日本交通株式會社

<http://nihonkotsu.co.jp>

《お気軽にお問合わせ下さい》

高速バス TEL 06-6576-1181 E-mail h-bus@nihonkotsu.co.jp

タクシー TEL 0570-07-2525 E-mail taxi@nihonkotsu.co.jp

日交トラベル TEL 06-4391-2061 E-mail travel@nihonkotsu.co.jp

満天の星空

美味しい水

大山登山で深呼吸

大山をいちばん近くで感じるホテルです。



ホテル大山
しろがね

<http://www.hotel-daisen.jp> ホテル大山しろがね 検索

〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山136-2

TEL 0859-52-2111 E-mail daisen@sakyu-daisen.jp

～大阪・神戸発の日交高速バスと宿泊をセットにしたプランもあります～



新年に寄せて

鳥取県関西本部 本部長

中原 美由紀

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

大阪鳥取県人会の皆様は新年をどのようにお過ごしでしょうか。ふるさとへの帰省を見送られた方も多いことと思います。昨年は、誰もが何かを犠牲にし、それぞれに我慢をした年だったのではないのでしょうか。

新たな年、新型コロナウイルスに翻弄される毎日に変わりはありませんが、この環境に適応しながら、前に進んでいかなければなりません。

昨年4月の緊急事態宣言発令時は、関西本部も対外業務を一時休止しましたが、2度目の発令では、リモートワークも活用して感染リスクを下げながら業務を継続しています。情報発信や移住・就職支援相談も継続して行っています。

実はこんな時代だからこそ、鳥取に移住したいという

方が多いのです。この一年、新型コロナの影響で働き方も大きく変化しました。そして大都市の過密さと対極にある地方に注目が集まっています。鳥取県には、自然も時間も空間も、今まさに求められている環境があります。

「ワーケーション」も注目のひとつです。「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でリモートワークを活用し働きながら休暇をとる過ごし方のことです。環境に恵まれた鳥取県はワーケーションの好適地と言えます。本県では、移住定住や関係人口の増加に取り組むとともに、ワーケーションや企業のサテライトオフィスなど、新しい人の流れを鳥取県へと向ける取り組みにも力を入れていきます。

昨年は「鳥取県ファンの集いin関西」は見送りとなりました。ふるさと鳥取という繋がりのもと集うことの素晴らしさを思い、今年は何とか開催したいと考えています。どうぞこれからも大阪鳥取県人会の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

そして、この困難な状況下で県人会活動にご尽力いただいている役員の皆様に改めて感謝申し上げます。結びに本年が皆様にとって心あたたかな一年となりますように心からお祈りいたします。

年頭メッセージ

2021



福山 琢磨さん
(大阪鳥取県人会 相談役)

『脳梗塞』からの学び

正しくは「右脳内出血」です。昨年3月、左半身がマヒし、機能障害を起こしました。倒れて大阪警察病院へ入院した夜、機能テストを受け驚きました。「目を閉じて右手で左手を掴んで下さい。」と言われたのですが、左手はマヒで神経が通じていなく「位置情報」が機能していないため、つかめません。足も同じです。寝転んで右足を上げ途中で止めます。次に左足を同じところで止めるのですが、全くできないのです。

人間の体は、筋肉と血管と神経で作られているといえます。血流が止まると、そこから先に神経はいかず、麻痺が起きます。私の母の姉（伯母）は左の掌が開かず、握りこぶしのままでした。

こうした障害を治すには手術かリハビリしかありません。私はリハビリの専門病院へ転院させられ、

厳しい訓練を受けました。歩行は平行台の間に立たされ、動かぬ左足を介護士さんの手を借り前へ進め、体重移動しながら、3メートルほどの距離を20分ほどかけて移動訓練を繰り返すのです。ギブアップは数え切れませんが、約1か月近くたったころ、コロナ患者受け入れのため病室を空けなければならぬので、通院可能者は、協力することになり、4月10日に退院したのです。

現在では、よちよちながら杖なし歩行ができるまじになりました。体力的には70%程度の回復です。

後遺症の口のしびれと左手のしびれとの戦いが続いています。基本的には2分の1生活を志しながら、体力アップを目指す日々です。

会社がマンションの前のため、毎日午前と午後、3時間ずつ出社し、雑用をこなしています。

次のような予兆を感じられたらまず主治医か、行きつけの病院へ電話してみてください。

- ①手足のしびれ（私は左手指）。
- ②言語障害を感じる。
- ③厳しい頭痛が起きる。
- ④風邪とは違う悪寒や、全身が震える。

いずれも突然、起きるのが特徴です。静かにして慌てず医師の指示に従うことです。

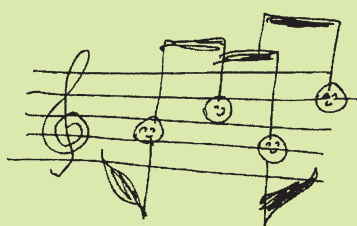
私のように、近くの入院施設のある総合病院の受診カードを持っていると、たらいまわしされることが防げます。脳梗塞など寸時を争いますから。

(前会長・大阪市在住)

会員リレー随筆

その 22

地域の夢、お客様の夢をかなえる
創造的なベストバンクを目指して



山陰合同銀行

坂根会計事務所

税理士 坂根 清明

事務所: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目5番1号
新栄ビル7階A
電話 (06) 6306-5707
FAX (06) 6305-1763
携帯 090-3052-2286
自宅: 〒532-0002 大阪市淀川区東三国2-10-11-305
電話/FAX (06) 6391-5690

第35期

鳥取学 出前講座

本年4月からの
再開を期して

○第35期鳥取学出前講座、第35期は中断します

鳥取学出前講座は、平成14年に福山前会長（当時副会長）の提唱によりスタート、当初は年に6回開催でしたが、3年目からは毎月開催を継続してきた長寿講座です。ところが令和2年3月度に新型コロナウイルス感染拡大防止のためその継続実施が断たれました。すでに同年4月からの第35期の開催要領を発表済みでしたが、止むを得ず同年上期は中止と決め、改めて同年10月からの第35期として再設定し、8月に全会員にご案内し、受講者数を限定25名として募集しました。

コロナ感染の収束を期待して10月から受講者25名で開講。感染防止対策として、マスク着用はもとより、会場受付で体温測定、手指消毒、座席は受講者間の間隔をとり、3人掛けの机に1人ずつ着席という状況で、翌11月までなんとか実施しました。しかし、コロナ感染状況は高止まりで、12月、1月度も中止を余儀なくされました。さらに1月に発令された緊急事態宣言が3月にまで及ぶことを受け、2月、3月度も中止することを決定。本年4月からの第36期開催を目指して調整中です。

10月

私のまちづくり

～「まち」と「ひと」個性が交響するまちづくり～

松浦弘幸 氏



三朝町は、鳥取市・倉吉市と岡山県に隣接する人口6,300人の町。三朝温泉と三徳山は、文化庁の日本遺産に指定されています。人口の減少と高齢化の中で、新たなまちづくりを目指して進めている地域

振興策について、町長は「まち・ひと・しごと」のキーワードごとに詳しく説明されました。

施策の中心は、温泉と観光資源の活用。ラドン含有量日本一の温泉効果を利用した医療との連携を強化するとともに、温泉街の町並み整備、海外姉妹都市との交流により、コロナ禍以後の観光客誘致をはかる計画。PRの方策について受講者との意見交換も行われ、町長は県外関係者の支援を強く要望されていました。

なお、当日JRが延着し開講時間に遅刻の町長、会場に到着するなり講義体勢をとられて、お疲れさまでした。
(三朝町 町長)

11月

大阪をステップに全国に飛躍した
板祐生の収集人生

中尾慶治郎 氏



板祐生氏は、明治から昭和にかけて西伯郡南部町の教員として生きた収集家であり、版画家です。集めたものは、郷土玩具、絵葉書、ポスターなど各々数百から数千点、延べ4万点にも及びます。

氏はそれらを、主に全国各地の同好の士との交流により入手され、そのお礼として収集品や身近にある風景、動植物を版画に描いて、本にして発行されました。

その版画作品は、当時は文字を印刷するのに使用されていた謄写版（ガリ版）を使って色ごとの版を作り、それを何度も重ねて多色刷りにしたものを創作、芸術作品としての評価を得ているものが多くあります。

南部町には同氏の収集品や作品の常設の展示館「祐生出合いの館」があり、膨大なコレクションを今に伝えてこられた地元関係者のご努力にも思いをはせる講義でした。
(南部町「祐生出合いの館」副館長)

第35期の紙上紹介

『鳥取学出前講座』運営協力金出資者

- (第34期) 福山琢磨、森田英路、上口敦弘、井関宏介、本田元子 (各1口)
- (第35期) 福田 豊、上口敦弘、井関宏介、本田元子 (各1口)

大阪鳥取県人会 会員動向

現在の会員数325名
(うち夫婦会員34組)

○新入会員 (敬称略)

- ①井上 幹男 (八尾市)
②西尾 康弘 (川西市)
③柴崎美登里 (大阪市)

○退 会 (敬称略)

- ①谷 佳代子 (10月)
②橋谷 一義 (10月)
③中村久仁子 (1月)



日本遺産認定

日本海の風が生んだ絶景と秘境
幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地
「因幡・但馬」

「麒麟のまち」情報発信拠点

鳥取県東部・兵庫北部エリアの
料理と地酒を楽しめる店舗です。
地元ならではの魅力的な商品も購入できます。
ぜひお立ち寄りください。

大阪市北区中之島 2-3-1 8

中之島フェスティバルタワー B 1

TEL : 06-6202-5335

<https://ja-jp.facebook.com/kirinnomachi00/>

■「鳥取マルシェ」を開催

開催日 3月5日(土)～6日(日)
場 所 松坂屋高槻店1階東南入口
(高槻市)
内 容 鳥取県産品の宣伝販売を行います。

■山陰・隠岐の島ワールドが三宮で出展中

JR三ノ宮駅前の三宮ターミナルビル跡地を活用したイベントスペース「ストリートテーブル三ノ宮」に居酒屋の「山陰・隠岐の島ワールド」が屋台で出店。冬期は山陰のあごだして調理した「あご出汁おでん」を種類豊富に提供しています。
期 間 9月26日(日)まで
【火曜定休・雨天中止】
場 所 JR三ノ宮駅中央改札口南側
三宮ターミナルビル跡地(神戸市中央区)

■県産品の通販サイトをご紹介します【まるっととっとりお鳥よせ】

(公社)鳥取県観光連盟のホームページでは、鳥取県の物産を手軽にお取り寄せできる通信販売サイトを紹介しています。ぜひのぞいてみてください。

ホームページ

<https://www.tottori-guide.jp/26654.html>


■オンラインショップ「ゆるりんショップ」

湯梨浜町の地域交流拠点「ゆるりん館」が運営する県産品のインターネット販売サイト「ゆるりんショップ」が2020年にオープンしました。湯梨浜ひらめ、東郷湖産しめじ、「鳥取東伯ミート」のお肉やソーセージ、お米、青果、お酒など幅広く取りそろえています。

ぜひご利用ください。

ホームページ

<http://yururin.net/>
■砂の美術館第13期展示の会期を延長します
「砂で世界旅行 チェコ&スロバキア編」

2006年以来、毎年テーマをかえて世界トップクラスの彫刻家が創り出す砂像を展示する砂の美術館。2020年7月11日より開催中の第13期展示は会期を延長し、2022年1月3日まで開催します。2020年に日本との交流100周年を迎えたチェコ&スロバキア。プラハ歴史地区(チェコ)、カレル橋とモルダウ川(チェコ)、スピシュ城(スロバキア)など、両国の歴史や景観、自然や動物、伝承をテーマにした全19作品を展示しています。

会 期 2022年1月3日(月)まで
(2021年2月1日(月)～28日(日))

関西本部だより

まではメンテナンスのため休館)
場 所 鳥取砂丘 砂の美術館
(鳥取市福部町湯山)
電 話 0857-20-2231
料 金 一般600円、小中高校生300円

■年末年始の高校スポーツ全国大会

年末年始は、高校スポーツの全国大会が各地で行われる季節です。新型コロナウイルス禍の今年、中止された大会もありましたが、多くの大会で鳥取県代表の高校生が全力で戦いました。

○全国高校駅伝【京都市】

男子第71回、女子第32回を迎える全国高等学校駅伝競走大会が、12月20日(日)に京都市内で開催され、男女ともに鳥取県代表は鳥取城北高校(男子:6年連続7回目、女子:2年連続3回目)が出場しました。

12月17日(木)に宿舎の東寺洛南会館を京都鳥取県友会・戸塚幹事、鳥取県関西本部・中原本部長、鳥取市関西事務所・林所長らが激励訪問しました。男子の帰山開智主将は「2時間7分30秒を切ることが目標。全てを出し尽くしたい」と健闘を誓い、女子の鈴木奏楽主将は「30番台を目指して頑張ってきた。みんなと最後の大会。全員で頑張る」と決意を述べました。

当日、男子は2時間11分55秒の44位。女子は1時間16分21秒の42位で大会を終えました。



○全国高校ラグビー【東大阪市】

第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会は東大阪市花園ラグビー場にて、12月27日(日)から1月9日(土)の日程で行われました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開会式は実施せず、無観客での開催となりました。例年、鳥取県代表校の宿舎で行ってきた激励訪問も中止となったため、大阪鳥取県人会からはバナナ1箱が差

し入れられました。

鳥取県代表で出場した米子工業高校(3年連続10回目)は、12月27日に東大阪市花園ラグビー場第1グラウンドで行われた一回戦にて本大会準優勝校となった京都成章高校と対戦、0-129で敗れました。

○全国高校サッカー【岐阜県各務原市】

第52回全国高等学校選抜サッカー大会は12月23日(水)から27日(日)の期間、川崎重工フットボールスタジアム及び岐阜各務野高等学校サッカー場にて開催されました。

鳥取県代表は男女ともに八頭高校。昨年優勝の女子は二回戦より登場し山口県立西京と対戦、2-0で勝利しました。続く準々決勝では栃木県立今市高校に0-1で敗れ、ベスト8に終わりました。

昨年3位の男子も二回戦から。岩手県立沼宮内高校との対戦は3-0で勝利。準々決勝で岐阜総合学園高校に1-3で敗れ、こちらもベスト8に終わりました。

○全国高校弓道【岐阜県岐阜市】

第39回全国高等学校弓道選抜大会は12月25日(金)と26日(土)の二日間、岐阜メモリアルセンターで愛ドーム(岐阜市)にて開催されました。

女子の鳥取県代表は倉吉西高校。予選を的中12でトップ通過し、決勝は二回戦から。愛知県立豊田西高校と対戦し9-7で勝利。準々決勝では土佐女子高校(高知県)と対戦し7-6で勝利。準決勝では網走南ヶ丘高校(北海道)と対戦し9-7で勝利。決勝では秀岳館(熊本県八代市)に7-11で敗れ2位となりました。

男子の鳥取県代表は鳥取西高校。予選を的中7で通過し一回戦は早稲田佐賀高校(佐賀県唐津市)と対戦、8-4で勝利。二回戦は大阪県立大分南高校と対戦し4-10で敗れました。

編集後記

「タブレット版4面編成」で発刊した会報も、50号から「A5版8面編成」とし、平成28年85号から「全面カラー化」を果たして今日に至っています。

昨年度から「新型コロナ」の影響で、さまざまな活動が中止となり、記事が不足して「4面編成」でお届けしていますが、次号は「100号の節目」をむかえます。

コロナの危機を乗り越えて、有意義な故郷の集いが復活し、充実した会報が発行できるよう願っています。

赤富士黒舞昆
(高級和紙袋入)

舞昆のこうしら

大阪市住之江区東加賀屋 1-3-40
お問合せ TEL: 0120-111-5283

「直火仕込製法」により
炊き上げた濃厚な旨さ

大阪で熟成された
道南産真昆布

天然酵母で熟成、
さらにまろやか

まいこん

天然酵母で熟成

話題のギャバふし

発酵食品